

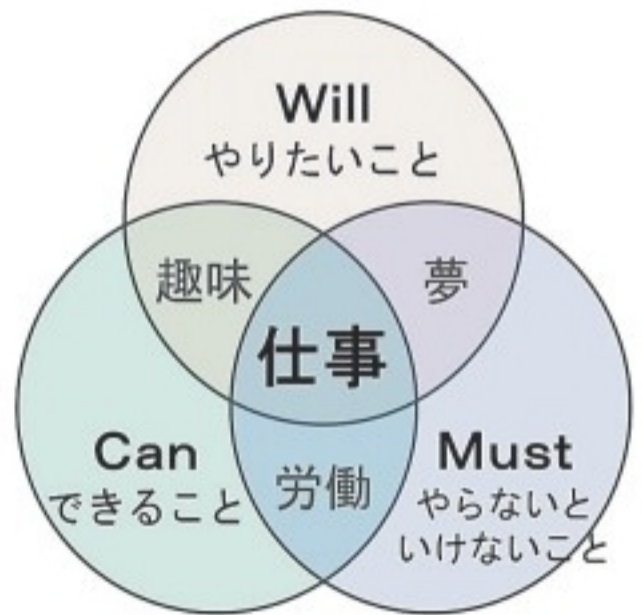
## 赤澤宏樹主任研究員

地域のコミュニティづくりをお手伝いすることがあります。自治会やPTAの担い手が減ってきている、若い世代にいろいろ参加してほしい、何かしたいけどやり方がわからないーなど、地域や人によってさまざまな悩みがあります。その中でも、「やらないといけないことをする人が足りない」という相談が最も多くあります。



仕事について、Will-Can-Mustという考え方があります。Willは「やりたいこと」、Canは「できること」、Mustは「やらないといけないこと」を指します。WillとCanだけの状態は、周りからは求められないので「趣味」となります。CanとMustだけだと、やりたくはないので「労働」に、WillとMustだけだと、できないので「夢」になります。Will-Can-Mustの三つ全てが含まれると、幸せな状態で仕事をすることができ、自分がしたいことを実現できて、周りからも求められている状態です。

私がお手伝いするコミュニティの仕事は、Must（やらないといけないこと）だと思われていることが多いです。なので、まずそれとWill（やりたいこと）が重なる「夢」をもう一度描くことをお勧めしています。例えば、自治会などの「やらないといけな



いこと」という意識が強い団体も、みんな仲良く暮らすという「夢」から始まっているはず。年齢層が上がったり、住民構成が変わったりしたら、もう一度、今のみんな「夢」を共有することが大切。

もう一つは、MustとCanが重なる「労働」の棚卸しをお勧めしています。ずっと続けている活動は、いつの間にか誰もしたくなくなっていることがあります。

しなくても大丈夫そうならば、みんなやめればよいのです。これは今までの活動を否定しているのではなく、お住まいの方々に合わせて変化していくことの大切さを示しています。

Mustが含まれない、WillとCanが重なる「趣味」も大切です。例えば、写真が趣味の方がイベントの様子を撮影し、交流サイト（SNS）などの広報に使ってもらえれば、コミュニティが楽しくなりますね。趣味の会で地域の友達ができるかもしれない。やらなくても困らないけれど、やれば楽しくなるという価値があるので。

地域によって、団体によって、人によって、Will-Can-Mustの良いバランスはさまざまです。みんなが幸せになるバランスを、みんなで考えることが大切だと思います。

## ひとほく 研究員 だより

### 地域づくり

# 趣味、労働、夢のバランスを